



あ、自分にもできる（親近感）活動があるかもしれない（興味・関心）参加してみよう（行動）
そんな会員向け通信を目指しています。

牧野篤 ～地域デザイン本部長に聞きました～

「やって楽しい」は牧野先生がこれまで長年取り組んできた地域活動のキーワードだ。建築家を目指していた高校時代、病気で留年を余儀なくされ、教育の苦しさにもがき大学では教育を学ぼうと決心。偶然手にした陶行知（＊注）の漢詩を読み中国の教育思想の研究を経て、社会教育の大家・小川利夫教授の元、日本の地方に深く関わるようになる。諸地域で数々の改革、事業を成功させてきた牧野先生の現在は実は偶然から始まった。

地域の人々と関わる時、相手のプライドを傷つけない、「自分が行動しなければ」と気づいてもらう事が何より重要だ。中国で陶行知の関係者に話を聞いた際の経験だ。信頼されなければ本音は聞けないし説得できない。まさに言うは易し行うは難しだ。正義・正論で人は動かない。実は牧野先生の活動も一筋縄では行かなかった。時間をかけて何度も地元住民と対話を続けた。各方面からのお叱り、金策、様々な苦労を重ねなぜやり続けるのか？ 答えは「楽しいから」。

＜編集部注記＞

* 陶行知：中国の教育者・改革者・詩人（1891年10月18日 - 1946年7月25日）

牧野篤氏略歴：大正大学 地域創生学部 教授、東京大学 名誉教授、人生100年社会デザイン財団代表理事



牧野本部長 一問一答

【問】 地域との出会いは何ですか？

名古屋大学2年の時廊下でそれ違った小川利夫教授に、生徒144人分のレポートを読んで分析してくれと頼まれ、結果を持って行くとそれを基に授業をさせられた。小川教授は社会教育の大家で、彼の退官後、名古屋大学に戻り地域にかかわるようになった。

【問】 諸々の地域活動の中で、印象深かったことは？

課題を抱える地方の人々は問題を理解していても、上からの押し付けには抵抗する。プライドを傷つけられるからだ。しかし、何かをやらなければと気付いてくれると協力的になる。

また、問題を抱える地方でも幸せそうな人たちがいる。それはよそから嫁いできた女性たちで、農作物を収穫、料理し、自然豊かな環境の中で子育てし、女性たちのコミュニティを作っている。それをヒントに都市の人たちの移住を募集、定着させることができた。

【問】人生100年社会デザイン財団の代表理事だが、高齢者に対する今後のプランは？

「旅するシニア」と題し、シニアが旅行、リゾートの空き部屋などを利用し、その地方の子供たちと交流するようなプログラムを考案中

【問】今まで研究として地域に関わって来られたが、個人としてはどのようなかかわり方があると思うか？

町内会長ですかね。

【問】DF会員がこれからできることは？

内にこもらず、外に向かう事。例えば子供たちと接するなど

◆◆私の推し街 連載 ◆◆



一推しの絶景ポイント 伊豆の国市～静岡県

菅沼堅吾(1403)

富士山と庵山反射炉。私のふるさと、静岡県伊豆の国市からは2つの世界文化遺産を同時に見ることができる。絶景ポイントは反射炉近くの山中の茶畠にある展望デッキ。なだらかとはいえ、約150㍍の坂道を上る必要がある。いつも躊躇するのだが、この原稿には写真が不可欠だ。天気も快晴。行くしかない。

年の瀬に、何十年ぶりに見た景色は感無量だった。実家で暮らしたのは地元の庵山高校時代の3年間だけ。卒業して東京の大学に進学して以来、実家には年に数回帰るだけだったが、愛着は年々深まっている。今は高校時代の親友が市長。だから余計街のPRをしないといけない(笑)。

源頼朝や北条義時、北条早雲、江川坦庵（＊注）ら、歴史がいっぱいの街、そして温泉と自然、食の街でもある。蛇足だが、市内には「一推し」の鰻屋がある。その名は「だいちゃん」。実家に帰ると、寄らずにはいられない。

写真 「年の瀬に何十年ぶりに見た景色～展望デッキより」

撮影 菅沼堅吾



編集部注記

* 江川坦庵：ペリー来航時、大砲用反射炉の築造に奔走した。



写真募集

「写真で見る地域デザイン活動特集号」の配信決定！

ご自身が関わっている地域のコミュニティ活動（＊注）の写真を募集します。お名前、会員番号と共に、下記（1）、（2）をメールで編集部までお送りください。**締め切り：2月16日**

（＊注）花壇・道路美化、公園・学校の植栽、地元のお祭り、防災訓練、読み聞かせなどを含む地域・コミュニティ活動。関わり方は個人やグループ、または自治会・町内会を通じた参加など、幅広く募集します。お問い合わせは編集部まで dfchiiki-tsushin@directforce.org

- 1) 写真 1枚とタイトル：複数の写真を合成し1枚にしても可。編集部で合成希望の方はその旨お申し出ください。
- 2) 活動の説明：150字以内



本部便り

《イベントのお知らせ＆報告》

・3月10日（火）**第13回地域デザイン勉強会** 15:00～17:00@DFオフィス/Zoom
都築富士男氏＊（会員番号1500）に四国の活性化などの取り組みについてお話しいただきます。
＊「SDGs志国連合国」代表・（株）都築経営研究所代表取締役・元ローソンジャパン社長

・11月の**実家の仕舞い方/活かし方アンケート**には130名を超える回答をいただきありがとうございました。結果は別途皆さんにご報告します。



編集部より
ご挨拶



小島：編集という名のもと、多くの会員の皆様との対話を楽しんでいる自分がいました。楽しみながら何かの役に立つ地域デザイン活動を応援、自分でも取り組んでいきたいと思います。

岡田：今年はもっと地域デザイン活動の具体的な中身や実際に活動をしている方々の声をお伝えすることで、DF会員の皆さんに活動の楽しさや取り組みをお伝えできればと考えております。

宮武：地元（地域）の未来に、「じぶん事」として、どう関わっていくかを考えるきっかけになればと通信をスタートしましたが、寄稿者の取り組みや視点に毎回感動しています。

松瀬：午年は速さ、変化、成長を象徴し、行動力が運を開くとのこと。2年目を迎える編集部もフットワーク良くDF会員の地域愛と地域活動を伝えて行きます。

問い合わせ先：ご意見、感想、お問合せなど下記までお寄せください。お待ちしています

dfchiiki-tsushin@directforce.org

編集部：小島千代美・松瀬高志・宮武里美・岡田知之

地域デザイン通信 バックナンバーは[こちら](https://directforce.net/regional-design/) <https://directforce.net/regional-design/>

ページの一番下までスクロールしてください。